

都立技術専門校における訓練科目について

第1 監査の結果

局は、一次評価のマイナス評価科目のうち、二次評価の対象となっていない28科目についても、訓練科目の見直し及び内容の充実に向け、二次評価を行うことを検討する必要がある。

就職率が低調な科目は、その原因を分析するとともに、適切な支援の対策を行う必要がある。さらに、高年齢者については、ハローワーク等との連携を更に深め、求人数の拡大を図る必要がある。

第2 事業の概要

産業労働局は、新規就業者及び転職希望者、中高年齢者等の就業の促進とその地位の向上を目的に、都立技術専門校(16校)及び東京障害者職業能力開発校において、それぞれに必要な知識や技術を習得するための訓練を表1のとおり実施している。

(表1) 職業訓練実施内容等(平成14.3.31現在)

区分	内容	実施校	予算額(千円)	決算額(千円)
能力 開 発 訓 練	求職者に対し、新たな職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得させるために実施する訓練	品川校ほか 15校	1,318,978	1,052,696
	概ね50歳以上の求職者に対し、新たな職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得させるために実施する訓練	大田校ほか 9校	125,113	89,976
	障害をもっている求職者に対し、新たな職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得させるために実施する訓練	東京障害者 職業能力開 発校	145,286	135,971
能力向上訓練	在職者に対し、職業に必要な能力の向上に要する技能及びこれに関する知識を習得させるために実施する訓練	品川校ほか 15校	335,814	318,331

今回の監査は、能力開発訓練を対象として実施した。

能力開発訓練は、求職者に対し新たな職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得させるための訓練であり、都内17校で実施している。

都が実施している平成13年度における訓練科目数は延べ153科目であり、分野別の主な訓練科目は表2のとおりである。一般向け訓練及び高年齢者訓練については、昼間・夜間コースを

設置しているが、障害者訓練については昼間のみとなっている。

入学者の選考は各校で行っており、内容については、面接及び簡単な筆記試験、学力検査である。入校後の授業料は、無料となっている（平成14年度から教科書は自己負担、作業服代等については一部の科目で自己負担となっている。）。

訓練終了後の就職先の紹介については、ハローワークを通じて行うほか、品川校ほか13校は、無料職業紹介事業を実施しているが、高年齢者校ほか2校は無料職業紹介事業を実施していない。

なお、平成11年度から平成13年度までの各校別応募状況は、別表のとおりである。

ところで、「東京構想2000」では、「働く意欲のある人が就業しやすい社会を実現する」としており、局は、職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号。以下「法」という。）に基づき、平成13年度から平成17年度までの第7次東京都職業能力開発計画（以下「第7次計画」という。）を策定し、その中で、今回の監査に関連する施策の目標を次のとおり示している。

今後の人材ニーズの変化等にあわせて訓練科目のスクラップ・アンド・ビルドを促進するとともに、新規・成長分野における職業訓練を積極的に展開する。

就業や職業能力開発に関する総合的な相談を充実するとともに、就職支援活動を強化し、職業訓練と有機的に連携することによって、都民の職業能力開発を総合的に支援する。

（表2）平成13年度における主な分野別訓練科目

分 野	科 目	実施校数	訓 練 期 間	定員（人）
機 械	機械製図ほか17科目	10	3か月～2年	1,290
電 気	電子工学ほか13科目	6	6か月～2年	720
出版・印刷・化学	グラフィック印刷ほか8科目	2	6か月～1年	385
被 服	アパレルプランニングほか2科目	1	1年	80
建設・設備	建築設計ほか27科目	9	3か月～2年	1,705
事 務	財務管理ほか22科目	11	2か月～2年	1,940
その他	介護サービスほか8科目	5	3か月～1年	860

第3 監査の観点、範囲、期間及び対象

今回の監査においては、各校で設定している訓練科目について、事業が都民のニーズに見合った規模、内容となっているか、事業が所期の目的を達成しているかの2つの観点から事業の評価を行った。

また、実地監査は平成14年9月9日から同月27日までの期間において、産業労働局を対象として実施した。

なお、東京障害者職業能力開発校（17科目実施）については、法に基づき設置した国立都営の訓練校であり、国からの委託により訓練を実施しているため、今回の監査対象から除外した。

第4 事業評価の結果（観点別）

1 事業が都民のニーズに見合った規模、内容となっているか

事業が都民のニーズに見合った規模、内容となっているかの検証は、東京都訓練科目評価委員会等の評価・見直し状況から、科目等の見直しが適切に行われているかの視点で行った。

局は、平成9年度から、訓練科目の計画的見直し及び改廃に関する提言を得るため、外部の委員を含めた訓練科目評価委員会を設置し、順次、特定の系列の訓練科目について評価を行った上で見直しを実施してきた。平成9年度はメカトロニクス系科目（延べ25科目）、平成10年度にはエレクトロニクス系科目等（延べ23科目）の評価を実施し、大幅な見直しが必要であるとした科目（平成9年度：1科目、平成10年度：2科目）については、見直しを行っている。平成11年度には、建設設備系科目（延べ49科目）の評価を行い、廃止又は抜本的な見直しが必要であるとした3科目及び訓練基準の大幅な見直しが必要であるとした9科目は、表3のとおりであり、平成14年度までに訓練科目の変更等の見直しを行った科目については、就職率等が向上するなど一定の成果が認められるが、一部科目については、監査日現在、検討中となっている。

また、局は、平成14年度から評価方法を変更し、全科目について一次評価を行い、その結果に基づき、対象科目を選定し、その科目について二次評価を行うものとしている。

一次評価は、各校で科目ごとに行い、表4の基準に基づく実績評価（+5から-5までの11段階）及び各校の校長がその科目の必要性、効果、効率性等の項目で行う自己評価とからなっている。一次評価結果は、表5のとおりである。

二次評価は、訓練科目評価委員会に代わって新たに設置した訓練科目評価会議（学識経験者、業界団体代表等の外部委員を含めた9名で構成）で、一次評価結果を検証・分析の上、総合的に評価を行い、科目の見直し及び改廃等につなげるものである。二次評価は平成15年2月から順次行うこととしている。

ところで、局は二次評価を実施する科目について、一次評価による実績評価結果で高実績評価科目（+3以上：53科目）と低実績評価科目（-3以下：21科目）の一部及び自己評価で各校長が大幅な見直しが必要であるとした訓練科目（-2から+2までの10科目）としている。二次評価は、外部委員が参画し、客観的な検証・分析が得られることから、マイナス評価科目のうち、二次評価の対象となっていない28科目（-2：18科目、-1：10科目）についても、訓練科目の見直し及び内容の充実に向け、二次評価を行うことを検討する必要がある。

(表3) 平成11年度における評価科目の見直し等の実施状況

検討項目	校名	科目	主な変更内容・改善結果
廃止又は抜本的な見直しが必要であると した3科目	赤羽	測量設計	平成12年4月から5名定員減及び授業運営の工夫 ・見直しにより、就職率が56%から86%に向上
	品川	塗装	平成13年4月から建築塗装科に内容を充実
	王子	溶接(短期)	平成12年4月から5名定員減(年間定員15名減)、引き続き見直しを検討中
訓練基準の大幅な見直しが必要であると した9科目	品川	インテリアサービス	平成12年4月から内容の見直しを行い、就職率が50%から86%に向上
		建築施工管理	平成13年4月から建築住環境設計科(2年)として発足
		金属造形	運用の見直しを実施。引き続き規模等の見直しを検討中
	武蔵野	溶接	平成15年4月開設を目指して、科目見直し作業中
		建築設計	平成13年4月から授業運営の工夫・見直しを行うとともに指導強化、修了率が69%から90%に向上
	足立	タイル施工	平成14年4月から建築仕上科として科目変更した
		ビルクリーニング	平成14年3月末廃止
	立川	溶接	運用の見直しを実施。引き続き規模等の見直しを検討中
八王子	電気設備システム	平成12年4月から内容の見直しを行い、就職率が68%から72%に改善	

(表4) 応募実績等による実績評価基準

区分 (指標項目)	選定要素	
	マイナス要素	プラス要素
応募実績	1.5倍未満 - 1	3倍以上 + 1
入校実績	定員比80%未満 - 1	定員以上 + 1
修了実績	入校比60%未満 - 1	入校比90%以上 + 1
就職実績	修了比50%未満 - 1	修了比80%以上 + 1
求人実績	求人が定員比1倍未満 - 1	求人が定員比1.5倍以上 + 1

(注) マイナス要素とプラス要素に該当しないものは、評点を0としている。

(表5) 一次評価結果一覧

評 定 ランク	科目数	科 目 内 訳 等					
		科 目 名	数	科 目 名	数	科 目 名	数
+ 5	5	介護サービス	1	介護サービス	3	パソコングラフィック	1
+ 4	24	情報工学	2	自動車整備工学	2	介護サービス	2
		ビル管理	2	ネットワーク構築	1	インテリアサービス	1
		製くつ	1	建築塗装	1	電気設備管理	1
		電気・通信工事	1	カラーDTP	1	DTP編集	1
		OAソフト管理	1	OAソフト(夜間)	1	調理	1
		OAシステム開発	2	三次元CAD・CAM	1	ビル衛生管理	1
		施設警備	1				
+ 3	24	電気工事	2	医療事務	2	自動車整備工学	1
		園芸	1	グラフィック印刷	1	ビル管理	1
		ビル衛生管理	1	木工技術	1	CAD製図	1
		自動車整備技術	1	自動車車体整備	1	サインディスプレイ	1
		木工	1	ハウスサービス(夜間)	1	電気機器	1
		電気設備管理	1	家電品サービス	1	貿易実務	1
		OAソフト管理	1	財務管理	1	Webデザイン	1
		アパレルプランニング	1				
+ 2	14	機械	1	電気工事	2	建築設備設計	1
		機械	1	ファッションリテール	1	ファッションボタンナー	1
		CAD製図	1	エクステリア	1	和装技術	1
		DIYアドバイザー	1	自動車塗装	1	エレクトロニクス	1
		ピロートメーションサービス	1				
+ 1	9	環境分析	1	情報通信設備	1	物流OA	1
		広告美術	1	電気設備システム	1	グラフィック企画営業	1
		ホテルレストランサービス	1	CAD製図	1	福祉調理	1
0	3	建築住環境設計	1	建築仕上	1	環境空調サービス	1
- 1	12	CAD製図	2	建築設計	1	パソコン実践	1
		CAD製図	1	ビジネス経理	1	コンピュータ制御システム	1
		テクニカルイラスト	1	物流OA	1	電子工学	1
		セキュリティサービス	1	メカトロニクス	1		
- 2	24	溶接	2	ビル設備管理(夜間)	3	機械加工	2
		溶接	1	プラスチック加工	1	配管	1
		メカトロニクス	1	測量設計	1	機械製図	1
		金属造形	1	ハウスサービス	1	建築設備	1
		コンピュータ金型	1	電気設備技術	1	塗装	1
		パソコン実践	1	ビジネスサービス	1	Webデザイン(夜間)	1
		ホワイトカラーリフレッシュ	1	電気工事	1		
- 3	16	ビル設備管理(夜間)	2	経営管理実務	2	経理実務(夜間)	2
		税務実務(夜間)	2	溶接(短期)	1	電気機器管理	1
		不動産調査実務(夜間)	1	エクステリア	1	ハウスサービス(夜間)	1
		ビジネスリフレッシュ	1	OAソフト(夜間)	1	Webデザイン(夜間)	1
- 4	5	不動産実務(夜間)	1	ビル管理(夜間)	1	トレース	1
		ビル設備管理(夜間)	1	自動販売機	1		
- 5	0						
計	136						

(注) は、校長が大幅な見直し(規模の拡大・縮小等)を必要とした訓練科目

2 事業が所期の目的を達成しているか

局は、企業ニーズに合わせて訓練科目や訓練内容の改善を図り、就職支援活動に積極的に取り組んでいくことにより、更なる就職率の向上を達成していくこととしている。

事業が所期の目的を達成しているかの検証は、就職率が低調な訓練科目について、就職支援活動等が適切に行われているかの視点で行った。

局は、校における訓練指導と就職援助の一貫性を確保し、求人・求職双方のニーズを的確にとらえ、生徒の特性を生かした就職促進を図る支援活動を行うため、無料職業紹介事業を実施している14校については、就職支援担当係長（6校）又は就職支援推進委員（8校）を配置し、企業訪問等の求人開拓を行っている。

平成13年度における16校の主な就職支援活動は、次のとおりである。

業界団体求人要請行脚 延べ197件

関連企業、団体に対する求人依頼のダイレクトメール送付 1万5,904件

地域推進協議会（地域の各界代表者で構成）の場での求人要請 40回開催

ハローワークと校とで開催しているブロック会議の場での求人求職情報の交換 6回

ところで、平成11年度から平成13年度までの訓練課程別の就職率は、表6のとおり推移しており、平成13年度における就職率については、70.8%（一般向け訓練75.2%、高年齢者訓練52.7%）となっているが、局は、第7次計画において、平成17年度までに校の修了生の就職率を80%にアップさせることを目標としている。

しかしながら、平成12年度及び平成13年度の就職率は、ほぼ同率となっており、特に就職率が低調な科目について見てみると表7のとおり、求人数が多いにもかかわらず就職率が低調である科目が認められることから、その原因を分析し、適切な支援の対策を行う必要がある。

さらに、企業における事業の再構築の進行により再就職が一段と厳しい状況にある高年齢者を対象に、高年齢者校を設置・運営しているほか、大田校ほか8校においても高年齢者のみを対象とした訓練科目を設定しているが、表7にも見られるとおり、一般向け訓練に比較し求人数も少ない現状となっていることから、ハローワーク等との連携を更に深め、求人数の拡大を図る必要がある。

（表6）年度別就職状況（16校）

（単位：人、%）

課 程	平成11年度			平成12年度			平成13年度		
	修了者	就職者	就職率	修了者	就職者	就職率	修了者	就職者	就職率
一般向け訓練	3,984	2,589	65.0	3,765	2,870	76.2	3,586	2,696	75.2
高年齢者訓練	1,074	453	42.2	1,012	502	49.6	859	453	52.7
計	5,058	3,042	60.1	4,777	3,372	70.6	4,445	3,149	70.8

（注）夜間訓練等については、除外している。

(表7) 平成13年度の就職率が50%以下の科目

(単位:人、%)

校名	科目名(課程名)	平成11年度			平成12年度			平成13年度		
		修了者	就職率	求人数	修了者	就職率	求人数	修了者	就職率	求人数
一般 向 け 訓 練	板橋 プラスチック加工(昼1年)	23	60.9	23	15	73.3	24	12	50.0	18
	立川 溶接(昼6か月)	51	72.5	113	36	77.8	150	28	46.4	73
	赤羽 カラーDTP科(昼6か月)	-	-	-	56	80.4	99	59	40.7	121
	王子 家電品サービス科(昼1年)	24	54.1	113	29	69.0	622	31	41.9	138
	" トレース科(昼6か月)	44	11.4	47	31	45.2	67	38	44.7	29
	八王子 自動販売機科(昼6か月)	-	-	-	47	55.3	56	37	48.6	16
府中 CAD製図(昼6か月)	57	42.1	24	54	72.2	126	50	50.0	159	
高 年 齢 者 訓 練	江戸川 エクステリア科(昼6か月)	73	8.2	1	59	1.7	8	59	8.5	6
	王子 電気機器管理(昼6か月)	-	-	-	57	28.1	45	50	38.0	41
	府中 経営管理実務(昼6か月)	54	20.4	7	55	21.8	5	60	33.3	3
	高年齢者 ハウスサービス科(昼6か月)	58	60.3	0	54	35.2	3	55	43.6	4
	" ビジネス経理科(昼6か月)	59	45.8	1	52	55.8	4	52	30.8	3
	" 経営管理実務科(昼6か月)	59	49.2	0	54	44.4	1	52	26.9	0
" ビジネスリフレッシュ科(昼2か月)	93	20.4	0	92	29.3	0	11	32.4	0	

(注1) 一般科目及び高年齢者以外の高年齢者訓練における求人数は、校受付求人及びハローワークからの職業訓練修了者等のみを対象とする求人の合計である。

(注2) 高年齢者校については、ハローワークからの職業訓練修了者等のみを対象とする求人数であり、求人がないにもかかわらず就職者が認められるものは、ハローワークにおける一般求人からの就職者及び訓練生の自主的な活動等によるものである。

(別表) 各校別応募状況等

(単位:人、%)

校名	項目	平成11年度				平成12年度				平成13年度			
		募集定員	応募者	応募率	科目等(定員)	募集定員	応募者	応募率	科目等(定員)	募集定員	応募者	応募率	科目等(定員)
品川	全体	630	1,895	300.8	15科目(660)	625	1,273	203.7	14科目(655)	595	1,061	178.3	14科目(625)
	最高	60	532	886.7	介護サービス	60	403	671.7	介護サービス	60	230	383.3	介護サービス
	最低	30	32	106.7	電気工事	60	38	63.3	リフォーム塗装	25	19	76.0	建築管理
板橋	全体	385	1,863	483.9	11科目(445)	355	1,341	377.7	9科目(445)	350	1,019	291.1	9科目(440)
	最高	60	701	1,168.3	介護サービス	60	512	853.3	介護サービス	60	323	538.3	介護サービス
	最低	30	33	110.0	機械加工	25	36	144.0	プラスチック加工	25	18	72.0	プラスチック加工
立川	全体	480	1,321	275.2	11科目(480)	480	983	204.8	11科目(480)	450	978	217.3	10科目(450)
	最高	60	394	656.7	OAソフト管理	60	291	485.0	OAソフト管理	60	258	430.0	園芸
	最低	30	31	103.3	ビジネス経理	60	51	85.0	溶接	30	24	80.0	建築設備
亀戸	全体	590	1,433	242.9	11科目(590)	590	1,001	169.7	12科目(590)	560	1,088	194.3	11科目(560)
	最高	60	276	460.0	ビル管理	60	164	273.3	電気設備管理	80	329	411.3	パソコン実践
	最低	60	67	111.7	溶接	60	45	75.0	ビル管理(設備)	60	48	80.0	ビル管理(設備)
飯田橋	全体									480	1,815	378.1	8科目(480)
	最高									30	207	690.0	パソコングラフィック
	最低									120	154	128.3	ホワイトカラーリフレッシュ

" 有明分校	全体									300	693	231.0	7科目(300)
	最高									60	212	353.3	貿易実務
	最低									60	62	103.3	ビル衛生
大 田	全体	490	644	131.4	11科目(520)	480	652	135.8	11科目(510)	460	634	137.8	10科目(490)
	最高	60	159	265.0	福祉調理	60	178	296.7	OAソフト管理	60	144	240.0	OAソフト管理
	最低	40	24	60.0	工業モデル	60	29	48.3	機械製図	25	11	44.0	NC金型
江 戸 川	全体	300	1,176	392.0	7科目(390)	320	858	268.1	7科目(410)	320	654	204.4	7科目(410)
	最高	60	549	915.0	介護サービス	60	403	671.7	介護サービス	60	230	383.3	介護サービス
	最低	30	33	110.0	機械加工	80	60	75.0	エクステリア	30	28	93.3	メカトロニクス
赤 羽	全体	480	903	188.1	10科目(480)	475	762	160.4	10科目(475)	320	790	246.9	7科目(320)
	最高	60	202	336.7	フィニッシュアート	60	202	336.7	カラーDTP	60	372	620.0	Webデザイン
	最低	30	30	100	冷凍空調	60	44	73.3	不動産実務	60	44	73.3	不動産実務
足 立	全体	450	668	148.4	10科目(450)	450	749	166.4	10科目(450)	240	368	153.3	6科目(240)
	最高	30	96	320.0	木工	30	116	386.7	木工	30	103	343.3	木工
	最低	60	40	66.7	タイル施工	60	50	83.3	タイル施工	60	32	53.3	タイル施工
" 台東分校	全体	20	47	235.0	1科目(20)	20	60	300.0	1科目(20)	20	103	515.0	1科目(20)
王 子	全体	390	556	142.6	8科目(390)	375	383	102.1	8科目(375)	315	347	110.2	7科目(315)
お茶ノ水	全体	320	821	256.6	8科目(320)	320	807	252.2	8科目(320)				
	最高	80	373	466.3	貿易実務	80	279	348.8	貿易実務				
	最低	30	50	166.7	アパレル技術	30	43	143.3	和裁				

中野	全体	460	1,610	350.0	7科目(460)	460	1,099	238.9	7科目(460)				
	最高	60	441	735.0	医療事務	30	173	576.7	パソコングラフィック				
	最低	80	89	111.3	室内リフォーム	40	35	87.5	室内リフォーム				
高年齢者	全体	1,040	2,021	194.3	11科目(1,040)	1,060	1,370	129.2	11科目(1,060)	1,080	1,659	153.6	14科目(1,080)
	最高	60	342	570.0	ビル管理	70	185	264.3	ビル管理	60	231	385.0	ビル管理
	最低	120	107	89.2	経営診断実務	120	83	69.2	経営診断実務	60	46	76.7	不動産調査実務
八王子	全体	410	1,599	390.0	9科目(440)	430	1,171	272.3	8科目(460)	430	971	225.8	8科目(460)
	最高	60	651	1,085.0	介護サービス	60	507	845.0	介護サービス	60	371	618.3	介護サービス
	最低	60	59	98.3	機器制御サービス	30	23	76.7	メカトロニクス	30	28	93.3	メカトロニクス
武蔵野	全体	330	1,204	364.8	8科目(330)	365	815	223.3	7科目(365)	370	747	201.9	7科目(370)
	最高	45	313	695.6	ビジネス経理	60	235	391.7	調理	80	236	295.0	パソコン実践
	最低	30	42	140.0	電気工事	30	37	123.3	電気工事	30	23	76.7	溶接
府中	全体	390	1,216	311.8	8科目(420)	390	1,017	260.8	8科目(420)	390	851	218.2	8科目(420)
	最高	60	561	935.0	介護サービス	60	482	803.3	介護サービス	60	292	486.7	介護サービス
	最低	30	29	96.7	省エネルギー 電気技術	30	19	63.3	省エネルギー 電気技術	30	23	76.7	省エネルギー 電気技術
東京障害者校	全体	230	349	151.7	17科目(240)	230	403	175.2	17科目(240)	230	350	152.2	17科目(240)
計	全体	7,395	19,330	261.4	(7,675)	7,425	14,744	198.6	(7,735)	6,910	14,128	204.5	(7,220)

(注) 1 平成12年度で中野校は廃校し、平成13年度からお茶の水校は飯田橋校に名称変更した。

2 王子校の溶接(受託)は、企業からの受託訓練である。